

H様邸 WEBリフォーム事例アルバム



「スペースにぴったり！ 使い勝手と和モダン柄にこだわったカップボード」

築約45年以上の住まいで長年使用されていたカップボードは、開扉で奥の物が出し入れしづらい仕様でした。スライド式の収納へ変更することで出し入れがスムーズになり、日常の家事負担を軽減。もとの空間の幅に合うように、カップボードの組み合わせや隙間調整をおこない、ぴったりの収納スペースになりました。さらにデザインにこだわり、空間に調和する美しい仕上がりを実現しました。機能性と快適性を両立したカップボードです。

工事期間 2026年 4月

(株)神崎ガスセンター
担当:柳井





Before

老朽化による不具合と出し入れのしにくさが重なっていたカップボード

- ・築約40年以上経過し、棚板が外れるなど全体的な老朽化が進んでいました。
- ・扉の奥にある物を取り出すのが困難でした。
- ・カウンターの高さが低く、作業時に腰をかがめる必要がありました。
- ・家族構成が変わり、以前の大きな収納が今の暮らしに合わなくなっていました。



収納量には十分にあるものの、動線や使い勝手に課題があり、日常の作業効率下がっていました。



引き戸のレール部分に経年による傷みが見られ、開閉時に引っかかりを感じる状態になっていました。



奥行きのある収納で多くの食器を収められる一方、奥にしまった物が見えにくく取り出しにくい構造でした。



棚の使い分けが難しく、整理や出し入れに手間がかかっていました。



見た目も使いやすさも整えた機能的なカップボード

After

つくりつけのような仕上がりで空間にぴったり収まった

- ・スライド式の収納にしたことで、奥の食器もスムーズに出し入れできます。
- ・カウンターの高さを10cm高くしたことで、無理のない姿勢で家事ができるようになりました。
- ・2つのキャビネットとサイドパネルを組み合わせ、隙間なくぴったり収まりました。
- ・ショールームで選んだ和モダンなパネルが、木目調の扉と美しく調和しています。
- ・デッドスペースが解消され、必要な物を整理して収納できるようになりました。



白を基調にした淡い木目調のタイプにしたことで、空間全体が明るくすっきりとした印象になりました。



スライド式なので、奥に収納した物もひと目で確認が可能です。



和モダンな幾何学模様のパネルは、カップボードのアクセントになっています。



吊り戸棚で使用頻度の低い物もしっかり収納。空間に圧迫感を与えないすっきりしたデザインです。



幅の異なるキャビネットを組み合わせ、空間にぴったり収めました。



カップボード内にコンセントや浴室給湯のコントロールパネルを配置して、機能性を高めています。



お客様情報

家族構成：H様(50代)
施工部位：カップボード
費用：約47万円
施工期間：約1日（検討期間 / 約2か月）
こだわり：収納
築年数：約45年
採用機器：カップボード「リシェル」(LIXIL)

お客様の声

「使いやすさと見た目の両方に満足しています」

長年使っていたカップボードは開扉で奥の物の出し入れがたいへんでした。今回スライド式に変えたことで、とてもラクに使えるようになったと感じています。大きさも、もとの幅にぴったり収まり、白基調で見た目も明るくなってうれしいです。分別収納ができるので、整理しやすく、これから少しずつ整えながら使っていくのが楽しみです。

担当者の声

「暮らしに寄り添う最適な収納計画をご提案」

既存スペースの寸法制約がある中で、いかにムダなく使いやすい収納を実現するかを重視しました。ショールームでの実物の見学を通してお客さまのイメージを具体化し、デザインと機能性のバランスを丁寧に調整しています。今後の暮らしがより快適になるよう、細部までこだわったご提案となりました。



main.jpg



ia_01.jpg



ia_02.jpg



ia_03.jpg



ia_04.jpg



ia_05.jpg



ia_06.jpg



ib_01.jpg



ib_02.jpg



ib_03.jpg



ib_04.jpg